



このQRコードは
メーカー管理用です。

TOTO

ウォシュレット® 施工説明書

washLèt.

◆「ウォシュレット」はTOTOの登録商標です。

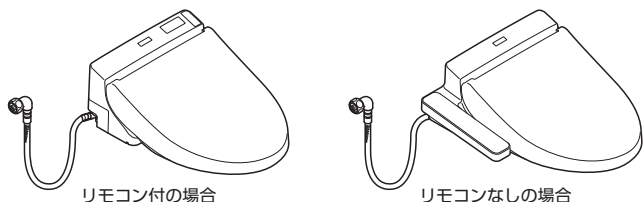
●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

従来製品からの主な変更点

- ウォシュレット専用便器洗浄ユニットは別包装となります。(リモコン便器洗浄付の場合)



ウォシュレット本体



いずれの製品も取付方法は同じです。
この施工説明書は、リモコン付の場合のイラストで説明しています。

同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。

リモコン部品 (リモコン付のみ) <p>ハンガー リモコン 乾電池 (単3形×2個) ねじ (3本) アンカープラグ (3本)</p>	分岐金具 <p>ワッシャー2枚 バック金2枚 (施工タイプにより1枚しか使用しない場合があります。)</p>	ベースプレート式 ※分解しないでください。 <p>ボルト 固定板 ゴムプッシュ</p>
印刷物 	クッション (オートふた開閉付のみ) <p>1個 ※同梱の取扱説明書に従い、取り付けを行ってください。</p>	埋込AC100Vリモコン部品 (埋込AC100Vリモコン付のみ) <p>(施工説明書付)</p>

別包装部品

ウォシュレット専用便器洗浄ユニット (リモコン便器洗浄付のみ)

※リモコン用「流すボタン」も同梱されています。
(取付説明書付)

安全に関するご注意 安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

絵表示の例 禁止してはいけない「禁止」の内容です。 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- 浴室など湿気の多い場所には設置しない(火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)
- 指定する電源(交流100V)以外では使用しない(火災や発熱の原因になります。)
- 電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しない(火災や感電の原因になります。)
- 水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない(故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
- 給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 車輻・船舶など、移動体への設置はしない(火災や感電、ショート、故障などの原因になります。)(便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはすれて落下し、けがをする原因になります。)
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む(プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱・ショートの原因になります。)

禁止

- <2Pプラグの場合>
●アース(D種接地)を確実に取り付ける(アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)
- <3Pプラグの場合>
●必ず接地アース極付コンセントに差し込む(変換アダプタなどを使用し、2口のコンセントに差し込むと、感電の原因になります。)

必ず守る

注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない(ウォシュレット本体がはすれて落下し、けがをする原因になります。)
- 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない(水漏れの原因になります。)
- 止水栓を開けたまま給水フィルター、給水フィルター付水抜栓をはずさない(水が噴き出します。)
- 施工は施工説明書に従って確実に(正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
- 給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める(確実に締めないで水漏れの原因になります。)
- ウォシュレット本体は、ベースプレートに確実に押し込む(「カチッ」と音がするまで押し込んだあと、軽く手前に引っ張って製品がはすれないことを確認してください。)(ウォシュレット本体がはすれて落下し、けがをする原因になります。)

禁止

必ず守る

取り付け前のご注意

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
 2. 便器に取り付ける前に、通電しないでください。温水タンクが空の状態ではヒーターが入るため、故障の原因となります。
 3. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
 4. 電源は交流100V(50/60Hz)です。右表の、電力に適した配線をしているか確認してください。
 5. 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
 6. 給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。
 7. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
 8. 同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。
 9. リモコン便器洗浄付の場合…必ずウォシュレット専用便器洗浄ユニットを取り付けてからウォシュレット本体をセットしてください。※施工のしやすさ、キズ防止のため。
 10. 便ふたがロータンクふたや壁などに当たる際、音軽減のため同梱のクッションを必ず貼り付けてください。(オートふた開閉付のみ)
- ※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

下記の場合はTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへご連絡ください。
TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99

給水ホースの長さが不足の場合

給水ホース長さ違い一覧表		
給水ホース長さ(mm)	品番	希望小売価格
1180	TCA253	¥2,800(税抜)
1480	TCA254	¥3,100(税抜)
1980	TCA255	¥3,600(税抜)

給水ホースの長さは約950mmです。給水取り出し位置は、ウォシュレット本体が着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、右表の中から適切な長さのホースをご購入ください。

●仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

右給水の隅付タンクへ接続する場合
隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、給水ホースの長さが足りません。別売品の中継アダプタ(品番:TCA58R)が必要になります。

フラッシュバルブへ接続する場合
隅付タンクのあるFVへ接続する場合→別売品の専用アダプタ(品番:TH343R)が必要になります。
②分岐口がないFVへ接続する場合→別売品の専用アダプタ(品番:TH484(FVの給排水芯120mm用))が必要になります。
③分岐口があるFV止水栓へ交換する場合→別売品の専用アダプタ(品番:TH347-1S(節水形)または品番:TH502-1S(普通形))が必要になります。

止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合
別売品の分岐金具(品番:TCA158)が必要になります。

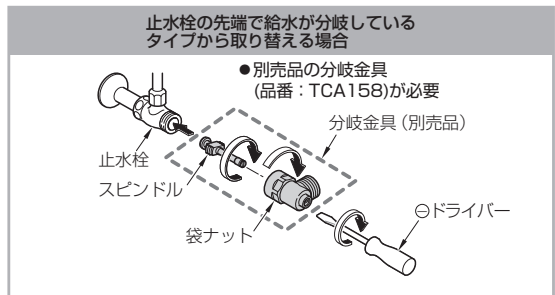
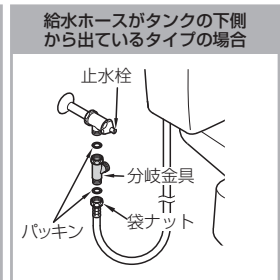
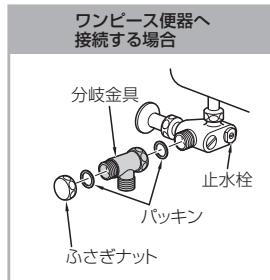
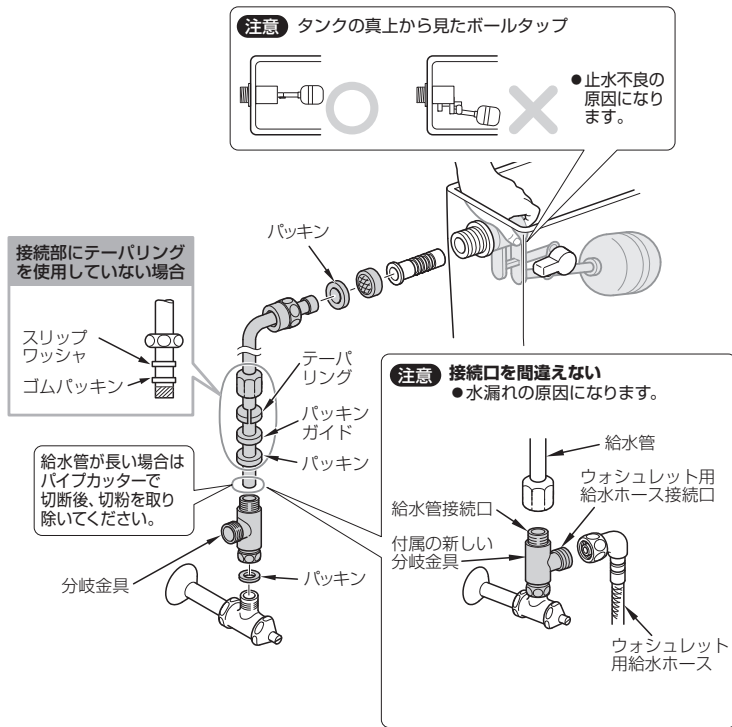
給水コンセントへ接続する場合
別売品のアダプタ(品番:TH778R)が必要になります。

取付方法

- 機種によっては製品の形状などが異なります。
- 分岐金具・パッキンは必ず同梱のものを使用してください。

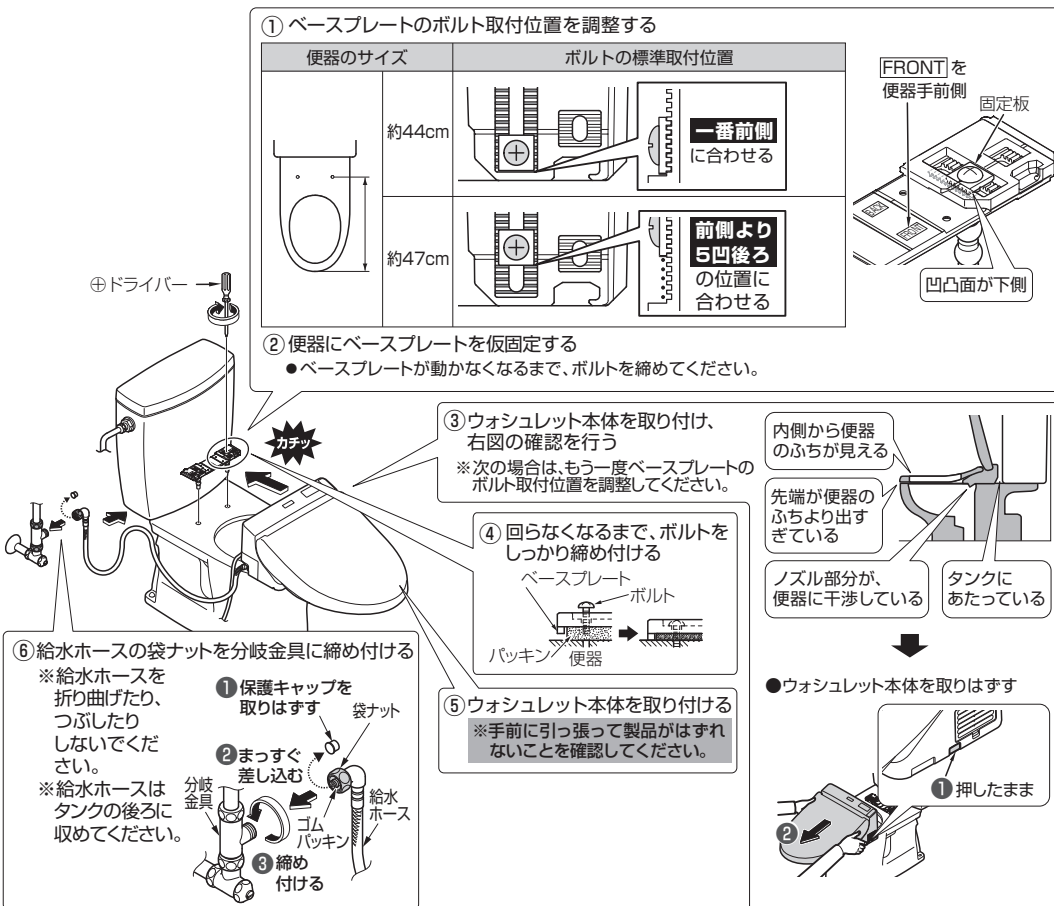
1 止水栓を閉める

2 分岐金具の接続



3 ウォシュレット本体の取り付け

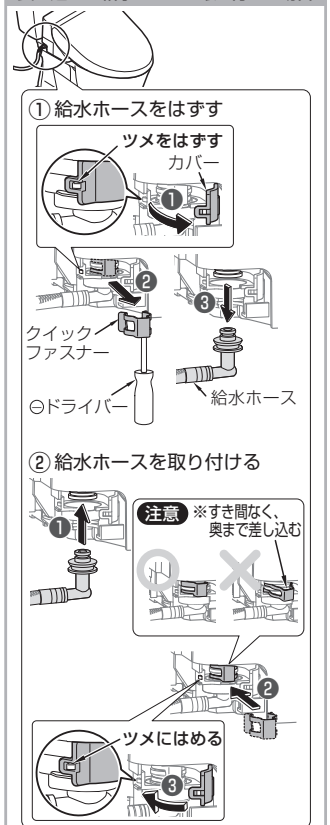
- ベースプレートは必ず同梱のものを使用してください。



取り付けた状態でウォシュレット本体が着脱できないときは、適切な長さのホースをご購入ください。

(表紙「給水ホースの長さ不足の場合」参照)

長さ違いの給水ホースを取り付ける場合

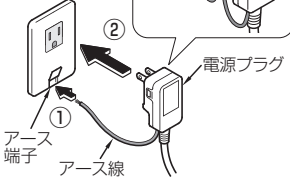
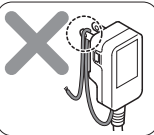


電源プラグ(アース線)の接続と確認

お願い ノズル伸出口に貼ってあるテープをはがしてください。



【ノズル伸出口】



3Pプラグの場合



ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

コンセントが電源コードの反対側にある場合

電源コードはタンクの裏側から通す

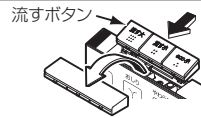


リモコンの取り付け(リモコン付の場合)

リモコン便器洗浄付の場合

1 流すボタンの取り付け

同梱の取付説明書に従い、流すボタンを取り付ける
リモコンには、流すボタンが取り付けられていません。必ず取り付けてください。



2 リモコンに乾電池を入れる

3 取付位置を決める

取付位置の目安
使いやすい位置の目安



やわらかい布(水でぬらしてよくしぼってください)

【作動の確認】

- 便座の右側を手で押し、着座スイッチを入れる
- 「おしり」ボタンを押してノズルが伸出することを確認する
- 「止」を押す
- 作動しない場合
→リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認

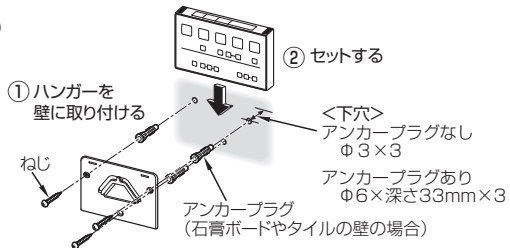
※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。

- 室内の広さ、壁、材質などの条件が合わないとき
- 黒っぽい天井や壁のとき
- インバーター方式の照明下のとき

4 ハンガーの取り付け

埋込AC100Vリモコンの場合

埋込AC100Vリモコンに同梱の施工説明書に従い、取り付けを行ってください。



5 リモコン便器洗浄付の場合

便器洗浄モードの設定を必ず行ってください。

設定方法はウォシュレット専用便器洗浄ユニット施工説明書をご覧ください。

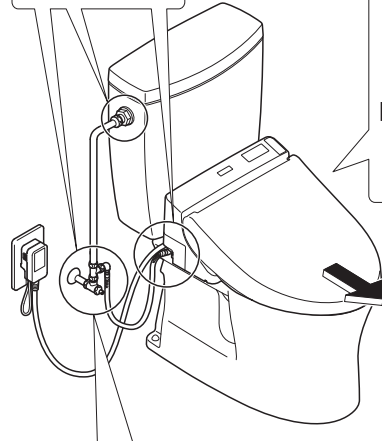
試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

●試運転の前および試運転完了時は必ず電源プラグが、コンセントに差し込まれていることを確認してください。(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

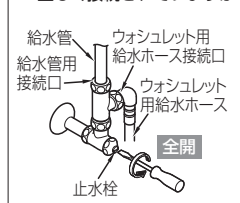
1 ウォシュレット本体の確認

□ 止水栓を開ける

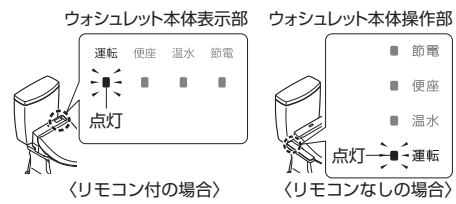
□ 水漏れチェック



□ 給水ホースは正しく接続されていますか

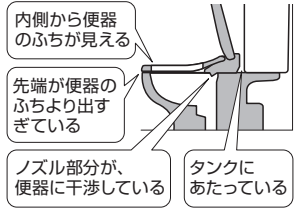


□ 運転ランプが点灯していますか

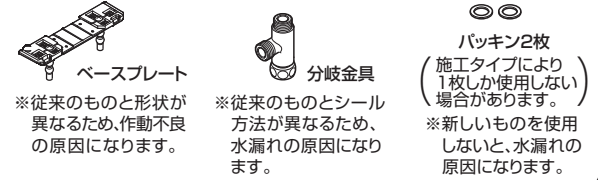


□ 手前に引っ張ったとき、ウォシュレット本体がはずれませんか
→ウォシュレット本体を、ベースプレートに「カチッ」と音がするまで押し込む

□ 以下に当てはまりませんか



□ 同梱部品を使用していますか



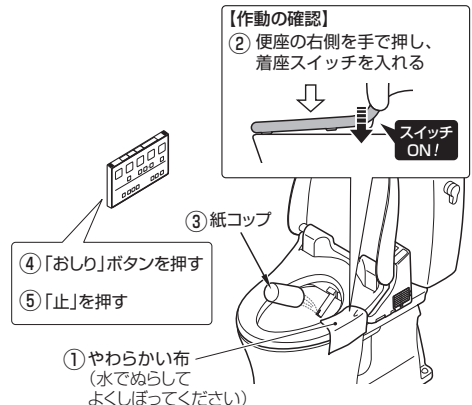
2 機能の確認

□ 便器洗浄しますか

リモコン便器洗浄付の場合
ウォシュレット専用便器洗浄ユニット施工説明書に従い、試運転を行う

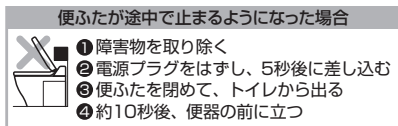
□ ノズルから洗浄水が出ますか

(温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分かかります。)



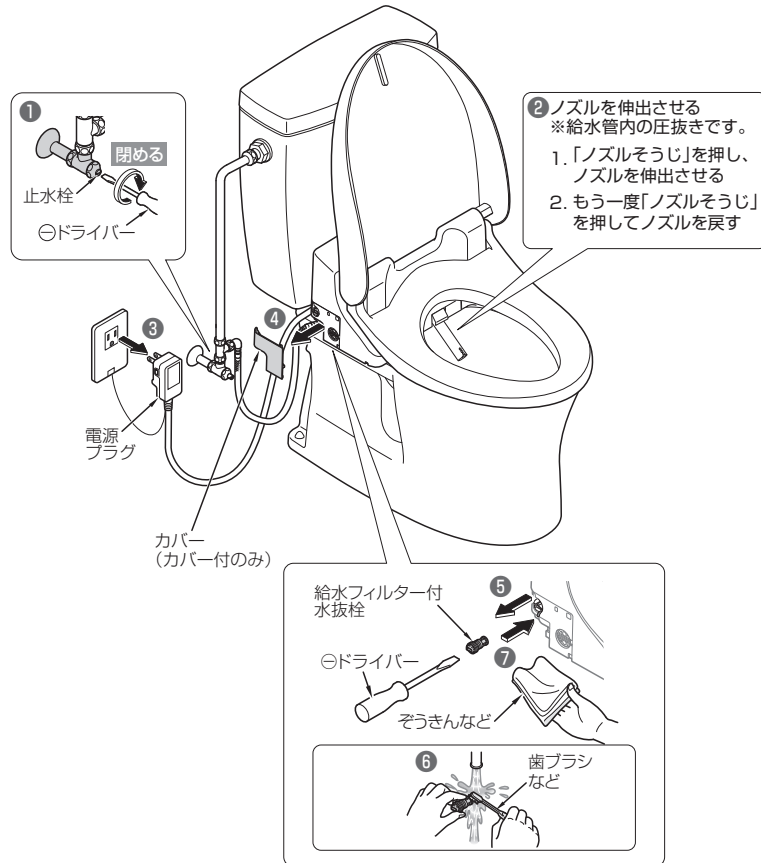
□ 便ふたがきちんと開きますか

(オートふたの開閉付のみ)
※3回続けて開いた位置を記憶します。

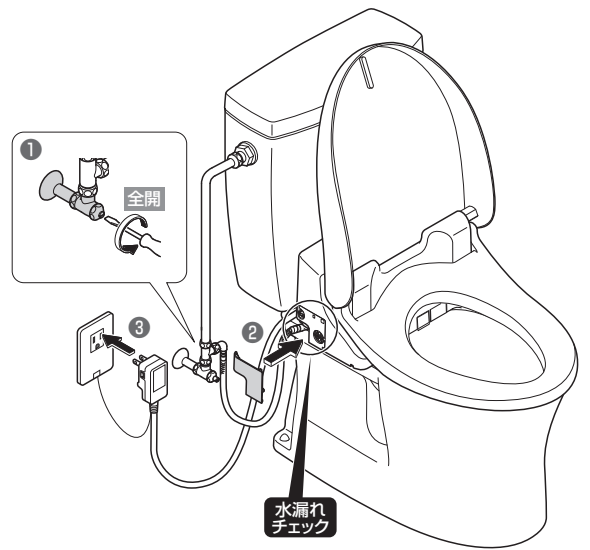


給水フィルターの掃除（試運転後）

1

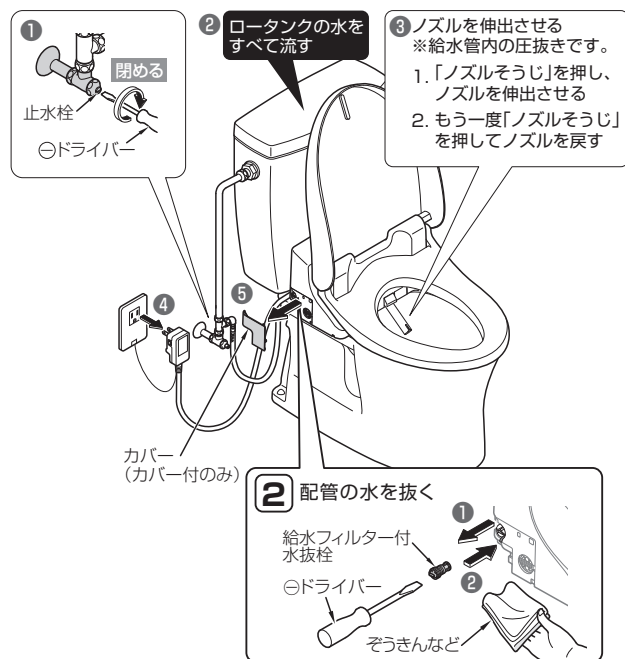


2



製品引き渡しまでの期間が長い場合

1



3 水抜きプラグをはずす

（給水フィルター付水抜き栓）
水平に
持ち上げて
給水ホース
の水を抜く

- ノズル付近から水が便器内に出ます。
水が完全に抜けるまで約90秒かかります。

4 水抜きプラグ、
カバー（カバー付のみ）
を取り付ける



- 凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
（不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、破棄処分するようにお客様にお伝えください。）

工事店様へ

- 使用しない乾電池は、工事完了後お客様にお渡しください。
- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。
- 連立対応について（URL）<http://search.toto.jp/contents/navi/>の「施工情報」→「ウォシュレットリモコン連立対応方法」をご覧ください。
※機種により掲載されていない場合があります。